



11月12日、県主ハウス祭りが、4年ぶりに従来の形で開催されました。晴天とはいきませんでしたでしたが、無事最後まで行う事が出来ました。

テント村が減る中、ねこねこランドによる「うどん」の販売をはじめ、アースラブ県主による「焼きそば・餅」の販売、そして各種団



体によるテント村を出店していただき有難うございました。

芸能大会では、井原高校の書道パフォーマンス、msKダンスクラブによるダンス、生バンドによる演奏ありと盛りだくさんの内容に、お越しの皆様にも充分楽しんでいただけたと思います。



# 第48回県主ハウス祭り



第34号

発行  
 県の里まちづくり推進協議会  
 県主地区自治連合協議会  
 県主公民館  
 県主地区社会福祉協議会

文化部副部長 山本俊和



地元の有志による生バンド



血管年齢測定



msKダンスクラブ



ミニ四駆

また、体育館では各種団体・個人による展示物が数多く出品され、お客さんも立ち止まって熱心に鑑賞されていました。生け花も多くの出品されていて、花の選び方一つにも個性が出るものだと思いますが、観賞しま



井原高校書道部

今年、ミニ四駆の製作実演会も設置され、子どもたちも楽しんだことと思います。

最後に、ハウス祭りの開催に向け準備をしていた皆様、作品を出展していただいた皆様本当に有難うございました。



木之子中学校吹奏楽部





**はじめに**

10月29日、第3回目となる防災訓練を県主地区全域で実施することができました。好天に恵まれ、総勢180余名が参加した大規模な訓練になりました。

防災訓練も回を重ねるごとに工夫を凝らしながら歩んで来ました。子どもが成長するように、右往左往のヨチヨチ歩きからしっかりと歩を進めることができるようになりましたと感じています。

**災害時「ペット」はどうします？**

今回は、従来実施してきた自主避



県主地区防災会 会長 佐藤好晴

難場所から県主小学校体育館まで避難をする「避難訓練」、訓練用AEDを使用する「救命救護訓練」、そして「初期消火訓練」、「炊き出し訓練」に加えて、新たに「ペット同行避難訓練」を実施しました。これで防災訓練のスタイルがほぼ整ったと思います。



「ペット同行避難訓練」はTOMODOGスクールの方のご協力を得て、挑戦することができました。参加された方は南海トラフ地震や大雨による避難行動に備えて、日頃からの「心構え」と「備え」を考える機会になったと思います。

東日本大震災（H23）や熊本大地震（H28）の際には、ペット、特に犬を家に置いて、たまま避難する人が多くて、その結果、多くの犬が放浪したり、あるいはペットを受け入れる避難所がなかったりというペットの問題が大きくなるクローズアップされたのは記憶に新しいところです。

**地震は忘れた頃にやってくる？**

今年も井原市は災害がなく、県主小学校体育館が避難場所として開設されるこ

とはありませんでした。井原市内でも県主地区は地すべりや土砂災害警戒区域（一部特別警戒区域）があるものの、比較的災害が少ない地域です。ちなみに、直近の災害としては、H30年7月の西日本豪雨が思い出されます。大雨特別警報が発令され、県主小学校に避難場所が設置され14名の方が避難されたり、西方地区の一部住宅では床下浸水の被害があったり、道路冠水で通行不能となったりしました。加えて、県主全域でがけ崩れが数か所発生しました。

西日本豪雨のような災害が再び発生する確率は非常に高いように思われます。梅雨の時期、今話題の「線状降水帯」も心配の種です。この情報が出ると必ず大き





な災害が発生して  
います。

そして、更に心配なのが地震です。南海トラフ地震が今後30年以内に70〜80%の確率で起きるといわれています。「次の南海トラフ地震は、いつ起きてもおかしくありません」（内閣府防災の公式X）とあり、より深刻度が増してきます。また、報道によると岡山県内の被害は全壊建物34,000棟、避難者（1日目）100,000人と想定されています。県主は井原市の中でも最も揺れが強く、最大、震度6.2と推測されていて、倒れる家もあるとのこと。

**「習うより慣れる」とは？**

いざという時、防災リュックに貴重品を詰めて近くの自主避難場所に自ずと足が向くというところまで、防災訓練を毎年継続して実施する必要があります。つまり、「習うより慣れる」



という言葉通り、人に教えられたり、頭で考えるたりするよりも、経験することがなにより大切だと思います。

「自らの命は自らが守る」こと、支援の必要な高齢者の方や身体に障害のある方には手を差し伸べることで、災害時に備えて子どもや私たち大人の防災意識を高めること、これらのことも「習うより慣れる」ことよって培われるはず。そして、その考えが「災害に強い県主」を実現してくれることと確信しています。



**県の里納涼盆踊り大会**

実行委員会 松山祥文

残暑厳しい8月13日、納涼盆踊り大会が開催されました。4年ぶりの大会に、町民のにぎやかな声が聞こえてきて、県の里に活気がよみがえりました。

当日は朝から、4年前の記憶をたどりながら、みんなの力を結集して、櫓や提灯などの準備をすすめました。午後からは各模擬店の準備も進み、19時の開店とともに盆踊り大会が始まりました。

開会行事には、井原市長、小田県議、上田県議のご来場をいただき、いよいよ総踊りが始まりました。太鼓が響き唄声が流れる中、鳥羽踊りの輪ができました。伝承教室で練習を重ねた子どもたちにつられ、大人たちも加わって輪が大きくなっています。県主の歴史のページを伝える鳥羽

踊りが夏の夜に帰ってきました。

その後も踊りが続き、模擬店にもぎわい、2時間余りの大会も盛会のうちに終わりを迎えました。

この復活の夜のために、計画・準備を進めてくれた方々、会に彩りを添えた模擬店の方々、当日の役員を務めて下さった方々、踊りに参加して下さった方々、大会に参加して下さった方々に厚くお礼を申し上げます。

来年も、県の里納涼盆踊り大会で会いましょう。



# 県主のわだ い



11/1 小学校芋掘り  
(協力: 門田・西方楽寿会)



9/2 門田楽寿会 出前講座



12/8 しめかざり集会



12/10 粗大ごみ回収



木之子中学校の玄関



かかしコンテスト最優秀作品



9/10 メルヘンウィンドファンサンブル



4年ぶりの敬老会

自治会女性部部长 三嶋佐織

令和5年9月10日、4年ぶりとなる県主地区の敬老会を開催しました。

岡本宮司による長寿祈願の神事が厳かに行われた後は、井原吹奏楽団メルヘンウィンドアンサンブルの皆さんによる演奏が賑やかに行われました。そして、お一人お一人にマイクを回し、近況報告をして頂きました。また来賓として大舌市長をお招きし、お祝いの言葉を頂き参加者全員で笑顔で記念写真も撮りました。終始和やかな雰囲気、皆様がとても楽しそうに過ごされていた事が、とても印象に残っています。私たちも一緒に緒の時間を過ごし、皆様の声を聞き、元気を頂きました。開催できて本当に良かったと思います。今回参加できなかった方々には、各地区の自治会長の力をお



借りして、記念品を配布させて頂きました。敬老者の皆様には、これからもますますお元気で、お過ごし下さいませよう心よりお祈り申し上げます。最後にになりましたが、敬老会開催にあたり協力して下さいました皆様へ感謝を申し上げます。そして来年度も開催されます事を願います。

第61回井原市民体育祭が開催

保体部 部長 佐藤和行

秋晴れの10月1日に4年ぶりとなる井原市民体育祭が井原運動公園陸上競技場にて開催されました。

今大会より競技数が5種目のフィールド競技となり年齢を問わず広く競技に参加できるように変更となりました。

しかし、いざ競技が始まれば各地区の選手全員が練習の成果を発揮し白熱した大会となりました。

約半日の競技の結果、県主地区は選手の頑張りによ



り4位入賞という素晴らしい成績を収めることが出来ました。選手、役員、応援してくださった皆さんありがとうございました。なお4位の盾は公民館に飾ってありますので機会があればご覧ください。



# ふれあい訪問

## 地域の方と楽しくコミュニケーション



最近、三年 藤原悠李  
 最近は、地域の方と話をすることがあまりありませんでした。ふれあい訪問は、ふだんなかなか関わるのでできない地域の方とふれあうことのできる大切な機会であることを知り、ぼくにとつて笑顔で仲を深めることができる時間になりました。まずは、登校中に出会ったら元気のよいあいさつから。そして、地域の方と少しでも多く話したいです。

### 四年 鳥越 枢

初めは、ふれあい訪問が成功するか不安でした。しかし、地域の方のやさしさや温かさを感じることで、あまりきんちようすることなく、安心につながりました。自己紹介ゲームが予想

以上に盛り上がり、一番楽しみにしていたフリートークがあまりできませんでした。地域の方とたくさん話した。ふれあうことができました。時々まちがえても笑って終えてくれるやさしい地域の方。これからももっと多くの人を元気にしていきたいと思えます。

### 四年 森谷悠晟

ふれあい訪問を通して、自分から関わることの大切さに気付きました。自分からコミュニケーションをとることで、仲が深まり、顔も覚えてもらいました。また、地域の方とたくさん話す中で、県主地域についてくわしくなったり、自分の思いも伝えたりすることができ、心に残る楽しい時間になりました。これからも

自分から話したり、関わったりすることのできる自分でいたいと思います。

### 三年 蔵本 旭

ぼくは、ふれあい訪問でのフリートークで自分から積極的に話をすることを意識していました。しかし、話すきっかけをつくってくださったのは地域の方でした。ぼくは、そこで気付いたことがあります。それは、進んで自分の思いを伝えることで、輪が広がっていくということです。これから人と接する時には、自分から話を進めていける



ひまわりの会



たんぽぽの会



しんぼく会



三コ三コ会

ような人になりたいです。また、地域の方と話すときまで知らなかったことを知れたり、生かせそうな部分に気付いたりできました。このつながりを大切にしていきたいです。

かかしコンテストを終えて

まちづくり 蔵本久美

今年も皆様のおかげで、第11回かかしコンテストを無事開催する事が出来ました。

コロナの影響もあり年々出展作品が集まりにくくなったり、スタッフの高齢化など問題は多々ありますが、「感動しました」「頑張つて続けてください」「来年も来ます」のメッセージに背中を押され、ここまで来れたと思います。

期間中会場に足を運んでくださる方の数が、私たちへのご褒美のような気がしました。



協賛を頂いた たくさんの賞品

今年は今まで協賛して頂いていました三共アメニティー様に加え、JA様をはじめ地元企業の皆様に協賛して頂きました。

おかげさまで出展者全員を対象に、笑顔と歓声のあふれる盛大な抽選会となり、皆様に喜んで頂きました。

出展者の皆様、会場に足を運んでくださった皆様、地域の皆様、協賛頂いた皆様、本当にありがとうございます。

第十三回公民館グラウンド・ゴルフ大会

公民館 藤井千秋

11月26日、井原市グラウンド・ゴルフ場で第十三回県主公民館グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。

朝は寒さが身に染みる季節になりましたが、当日日中は好天に恵まれ、わきあい合いプレーを楽しみました。

今回は、小学生7名を含む49名が8組に分かれて三



第13回県主公民館グラウンド・ゴルフ大会成績一覧

	一般男子	一般女子	小学生男子	小学生女子
優勝	岡田英臣	岡田吉恵	佐藤新太	岡田佳奈
準優勝	佐藤 隆	松山知子	鳥越 快	槌田莉菜
第3位	山本邦彰	森谷みつゑ	鳥越理夢	
ホールインワン	岡田英臣	佐藤 隆	山本俊和	佐藤憲司
	山本邦彰	佐藤 要	松山知子	森谷みつゑ
	馬越秀子	岡田吉恵	三宅貴美子	

世代間の交流を深めました。成績は次の表のとおりで、一般男女総合優勝は、ご夫婦でのニアピン勝負を制した岡田英臣さんが栄誉に輝きました。参加いただいた皆様ありがとうございます。次年度の大会にもご参加いただきますようお願いいたします。



県の里まちづくり推進協議会

県の里まちづくり推進協議会のページで「みんなの県主」が閲覧できます。

ホームページ]http://www.agatanosato.jp

### 焼酎「里の夢」の芋 「黄金千貫」収穫

まちづくり 蔵本哲治

今年は、雨が少なく気温が高いが続いた夏。6月に植えたイモ焼酎「里の夢」の原料である「黄金千貫」を、11月18・19日で収穫しました。

今年は異常気象で、芋の生育を心配しておりましたが、いざ掘ってみると心配していたとおり、玉太りは小さく、さらには、結実も例年の半分から1/3ほどしか着いていませんでした。芋を育てるには、灌水はあまり必要でないとの概念を覆され、改めて水の大切さを



実感することとなりました。そういった中、一昨年・昨年に続き今年も若い力が収穫を手伝ってくれました。

今年は、興譲館高校のボランティア部の学生三名、先生とその友人親子が、芋掘り体験を兼ねて収穫を手伝ってくれました。最初は鍬の使い方には悪戦苦闘していましたが、次第に使い方に慣れ、終盤では持前の若さと溢れるパワーで助っ人としての役割りをしっかり果たしてくれました。芋の収穫量の少なさにはガッカリでしたが、若い力を見ているとても頼もしく元気を頂きました。

今後、若い力と共に助けあつて活動ができればと思つた楽しいひと時でした。

### 県主わくわくクラブ

社協 岡田正代

夏休みの児童クラブ支援が、今年度から小学生全員を対

象として名称を「県主わくわくクラブ」と改めて、7月25日・8月5日・18日・22日の4回行われました。

デニムでウォールポケットを作つたり、冷たいデザートや10種類以上のトッピングで栄養満点なうどんを手作りして食べたり、ミニ四駆やベイブレードで遊んだり、ミニ科学実験教室で楽しく学んだりと盛りだくさんで、子どもたちはずっと笑顔でした。20人近くの子どもが参加した日もあり、最高の夏休みの思い出となりました。最後に、このクラブを行うにあたりご支援・ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



ご寄付ありがとうございます  
ございました

県主地区社会福祉協議会へ  
石井 崇広様 (亡祖母)  
紙面をもってお礼にかえさせていただきます。



### 県主地区の人口・世帯数 地区全体

- 世帯数……529世帯
- (門田町…302世帯)
- (西方町…227世帯)
- 人口…1,176人
- (門田町…677人)
- (西方町…499人)
- 男 性…550人
- (門田町…327人)
- (西方町…223人)
- 女 性…626人
- (門田町…350人)
- (西方町…276人)
- 65歳以上…480人
- (門田町…298人)
- (西方町…182人)
- 高齢化率…40.8%
- (門田町…44.0%)
- (西方町…36.5%)

令和5年11月末現在